

SNA初、自社養成による機長デビュー

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:伊東 正孝、以下SNA)は、この度、自社養成による2名の機長が誕生いたしましたことをご報告申し上げます。

当社の機長自社養成制度は、2005年11月に策定した中期三ヵ年計画においてその方針を決定いたしました。その後、副操縦士としての経験、実績を勘案した上で、2007年3月より訓練投入選抜審査を開始、2名の機長候補生は約1年8ヶ月の訓練を経て、本年11月19日及び同20日に国土交通省航空局の機長認定路線審査を受験、合格いたしました。この機長自社養成制度は、将来の運航乗務員の安定確保に繋がるものとして期待される制度であり、今後も引き続き多くの機長候補生を育成し、安全運航の堅持に努めてまいります。

当社の機長自社養成制度

運航乗務員の安定確保を背景に、人材育成の観点から、副操縦士を一人前の機長に育て上げる当社独自の訓練プログラムです。

副操縦士としてある一定基準飛行経験を積んだ者を対象に、技倆はもちろんの事、機長としてふさわしい人格であるか等、様々な観点から社内審査を行った上で、機長候補生として訓練を開始します。

多岐に渉る訓練及び審査を重ね、機長としてまた将来のSNAを担う指導者として活躍する人材を育成していきます。

《機長養成の概要》

- 訓練期間: 約1年8ヶ月(選抜審査より)
- 訓練地: 日本及び海外(ニュージーランド)
- 訓練内容: 定期運送用操縦士技能証明(ATPL)取得訓練及び機長昇格訓練の2つで構成
以下の訓練及び審査を重ねていきます。

学科訓練、シミュレータ訓練・審査、実機訓練・審査、路線訓練・審査